

報道関係者各位

2022年1月5日

第88回企画展「きれいになりたい —櫛・簪・笄とお洒落—」
初公開 百助コレクション

2022年1月5日(水)～2月28日(月)

“きれいになりたい”それは誰もが抱く美への憧れ。日本髪は、江戸時代に花開いた独特の結髪方法を駆使したヘアスタイルで、それを華やかに飾るのが櫛、簪、笄などの髪飾りです。本展では、浅草の老舗化粧品店「百助」から受贈した櫛・簪・笄コレクションを主軸に、当館ならではの世界の結髪道具や古代中国の髻櫛、島田髻の原型に結び上げた埴輪、さらには人気絵師葛飾北斎が描いた江戸時代の櫛の図案帳(天理大学附属天理図書館蔵)も併せて紹介いたします。

「お洒落」とはやはり「着飾る」ことでしょうか。「着」で連想するのは衣装ですが、「飾」の文字には髪飾り、ひいては髪の意味があります。髪のかき方のモデルチェンジが進んだ江戸時代、女性は身分制社会のなかで制約を受けながらも美を求めました。支配階層であっても貴金属を身にまとう習俗が普及しなかった当時、装飾品は手にのるような櫛・簪・笄に集約されました。職人が技術の粋を凝らした多様な髪飾りは、女性の立場や年齢によって異なる様々な髪型を美しく引き立てます。今回は櫛・簪・笄それぞれの素材や個性的なデザインに触れることで、“きれいになりたい”女性のお洒落に対する思いと、彼女たちが生きた時代背景を感じとっていただきたいと思います。

■展示構成

【髪飾りのはじまりはなに?】

日本では古代より独特の結髪文化を発展させてきました。大陸文化の影響を受け、高く髻を結んだ飛鳥・奈良時代、長く垂らした豊かな黒髪を愛した平安時代から室町時代を経て、江戸時代には再び技巧を凝らして様々に結び上げるようになります。江戸時代の髪形は現在名称が残っているものだけでも300種を超えと言われ、このころになって多彩な髪飾りが生まれます。日本の髪形の変遷を示す資料を、古代中国の出土品や朝鮮半島と比較して紹介します。

【百花繚乱の髪飾り—櫛・簪・笄—】

美しく結び上げた黒髪を彩る髪飾り。欲しいものは「一櫛、二帯、三小袖」と川柳で詠むほどに、髪飾りは江戸時代の女性の必須アイテムでした。現代でも、着ている服より小物使いでお洒落のセンスが問われる場面もあるのではないでしょうか。代表的な髪飾りである櫛・簪・笄を百助コレクションの優品から紹介します。それぞれのアイテムごとに、黄楊、象牙、鼈甲、珊瑚などの素材があり、蒔絵や螺鈿などの技法が駆使されています。そしてそこには吉祥文様や四季の移ろい、幾何学的な柄つかいなど様々な風景が展開しています。それらを生み出した、おそらくほとんど男性だった職人が、女性の好みを掴んで流行を牽引したことに驚かされます。当代の人気絵師北斎が提案する櫛のデザインは、現代でも通用する斬新さがあります。からだをくねらせる鯉や羽ばたく蝶、涼やかな鈴付など、動きのあるモチーフの簪や笄も併せてご覧いただきます。

■出品予定数 約 70 点

主な展示品(以下に記載の資料はすべて天理大学附属天理参考館所蔵)

- ・丸に三つ盛亀甲に唐花菱紋忍散らし蒔絵櫛
- ・秋草螺鈿蒔絵櫛
- ・鯉の滝登り金銀仕掛簪
- ・珊瑚玉簪
- ・桐花飾り鈴付金銀珊瑚びらびら簪
- ・菊花螺鈿蒔絵笄
- ・菊花短冊蒔絵櫛笄
- ・松竹梅鶴亀蒔絵揃物
- ・群馬県太田市出土埴輪
- ・竪櫛
- ・阿波浄瑠璃人形 傾城阿古屋

■関連イベント

・トーク・サンコーカン(学芸員による講演会)

「髪を飾るおしゃれ ―櫛・簪・笄の美―」

講師: 幡鎌 真理(天理大学附属天理参考館 学芸員)

日時: 1月22日(土) 13:30~14:15

会場: 天理参考館 2階ホール

定員: 30名(事前申込み制・要入館券)

※イベントの申込み方法は第88回企画展サイトをご確認ください。

https://www.sankokan.jp/news_and_information/ex_sp/sp088.html

第88回企画展サイト



・その他

展示室前モニターにて結髪の様子を映した動画を上映予定。

■開催概要

展覧会名 第88回企画展「きれいになりたい―櫛・簪・笄とお洒落―初公開 百助コレクション」

会場 天理大学附属天理参考館 3階企画展示室

会期 2022年1月5日(水)~2月28日(月)

開館時間 9:30~16:30(入館は16:00まで)

休館日 火曜日(ただし1月25日は開館)

入館料 大人500円、団体(20名以上)400円、小中高生300円(学校団体の見学は無料、要事前申込)

※障がい者およびその介護者1名は無料。受付カウンターに障がい者手帳またはミライロID(スマートフォン向け障がい者手帳アプリ)をご提示下さい。

主催 天理大学附属天理参考館

後援 天理市・天理市教育委員会・歴史街道推進協議会

協力 南登美子・京都美容文化クラブ・一般財団法人伝統文化保存協会・ビューティサイエンス学会・天理大学附属天理図書館

新型コロナウイルスの感染予防、拡大防止のため会期や関連イベントを変更・中止する場合があります。

■お問い合わせ 天理大学附属天理参考館 〒632-8540 奈良県天理市守目堂町 250 番地

TEL.0743-63-8414 FAX.0743-63-7721 E-mail:san-info@sta.tenri-u.ac.jp

学芸部 日本民俗室 幡鎌 / 総務部 広報普及係 中村・山口

■第 88 回企画展「きれいになりたい ―櫛・簪・笄とお洒落― 初公開 百助コレクション」
広報用画像リスト

これらの広報画像は当館ウェブサイトのプレスリリースページ内(第 88 回企画展「きれいになりたい ―櫛・簪・笄とお洒落― 初公開百助コレクション」広報用画像)よりダウンロード可能です。
使用に関しては以下の注意事項を遵守してください。

・クレジットには以下の通り記載してください。

- 【1】 桐花飾り鈴付金銀珊瑚びらびら簪(天理大学附属天理参考館 所蔵)
- 【2】 丸に三つ盛亀甲に唐花菱紋蒔絵櫛(天理大学附属天理参考館 所蔵)
- 【3】 松竹梅鶴亀蒔絵揃物(天理大学附属天理参考館 所蔵)
- 【4】 螺鈿蒔絵笄(天理大学附属天理参考館 所蔵)

・写真(画像)のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。

・写真(画像)の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。



【1】 桐花飾り鈴付金銀珊瑚びらびら簪
(天理大学附属天理参考館 所蔵)



【2】 丸に三つ盛亀甲に唐花菱紋忍散らし蒔絵櫛
(天理大学附属天理参考館 所蔵)



【3】 松竹梅鶴亀蒔絵揃物
(天理大学附属天理参考館 所蔵)



【4】 螺鈿蒔絵笄
(天理大学附属天理参考館 所蔵)



【5】 ポスター